



# 京機短信

## KEIKI short letter

No.357 2021.08.06

京機会(京都大学機械系同窓会) tel. & fax. 075-383-3713

E-Mail: jimukyoku@keikikai.jp

URL: <http://www.keikikai.jp> 編集責任者 吉田英生

### 号 外

### 東京オリンピック



# 山西利和選手

## 銅メダルおめでとう！

### 男子20km競歩 2021年8月5日(木)

祝福メッセージはコチラから <https://keikikai.jp/event/form/?id=156>



(おことわり：テレビ画面のダイレクトな掲載は著作権の問題があると思いますのでやむを得ずテレビ周辺のスナップ写真です。テレビ上方に写っているのは、たまたまですがアテネ土産のパルテノン神殿の壁飾りです。)

## 杉江俊治 京都大学名誉教授（山西選手の2017年度卒論指導教授）

山西君おめでとう！

山西君、オリンピックの競歩20kmでの銅メダル獲得、おめでとうございます。機械系はじまって以来の活躍ですね。皆に注目されるすごいプレッシャーと札幌とは思えない当日の暑さの中での快挙、ほんとにすばらしいと思います。

山西君が4回生の卒業研究で、私の研究室に配属されたとき、誰かが「山西って、あの山西か」と言ったのを聞き、その時、初めて陸上で活躍している選手だと知りました。配属後、研空室での輪読や研究会を通じて、山西君がしっかりと専門的知識を修得しているなあと感心していたので、「大学院に進学しない」と聞いたときには驚きました。もったいないなあ、こんなのできるのに・・・と。でも私が間違っていましたね。ユニバーシアード、世界陸上の優勝などその後の桁違いの活躍が、それを証明しています。他の学生と異なり、国内合宿や海外遠征などで多くの時間をとられる中、短時間に集中して、頑張っただけで卒業研究を進めていたのが思い出されます。卒業研究は「部分空間法を用いた信号の周波数推定」という題目でしたが、今から考えると、よく4回生にこんな難しい課題を与えたものです。でも難くこなしてましたよね。

社会人になってからも、華々しい成果にうかれることなく、理詰めで地道な練習に励む姿は、さすがに山西君だと感心させられます。今後も、エンジニアと競歩選手の2足の草鞋を楽しみながら極めていかれることを祈念します。

## 野村 剛 京機会会長

山西選手

競歩 銅メダル おめでとう ございます

実況中継を見ていて 手に 力が 入りました  
特に 終盤 仕掛けられた時には  
行けるかと 思いましたが  
苦しそうな 表情が 見て取れました

残念ながら 銅メダルには  
なりましたが  
永年の努力が 報われたものと思います

お疲れ様でした。

## 榎木哲夫 京都大学工学部長

山西 利和 選手 20キロ競歩 銅メダル獲得、誠におめでとうございます。

競歩種目でのメダル獲得、歴史を塗り替えてくれました。

京都で育ち、京都大学工学部で学ばれてのこの偉業達成。もはや「京大出身なのにすごい」なんて言わせませんよ、「山西選手だからすごい」のです。

ゴール後、日の丸をなびかせての笑顔が目に焼き付いています。

そしてその笑顔の裏のこれまで努力されてきた姿が目に浮かびます。

鍛錬を積み重ね、まさに「継続は力なり」の座右の銘を實踐され、持てる力を思う存分に発揮し、見事な歩きで最後まで頂点を争われた姿に心から敬意を表します。

教職員一同、学生諸君、OBの方々等の皆さまとともに、心からお祝い申し上げます。

感動をありがとうございました。